

“帮”と“给”の共通点と差異

永江貴子

1. はじめに

“帮”と“给”はS+V+Oの文型において“我帮你。”「私はあなたを助ける」、
“我给你。”「私はあなたに与える」といった全く違った意味を表す。しかしその
文型の後続に動詞が共起する場合、“帮”を用いた文は“给”が受益者を導く
文は同じような場面で用いられる。(1)の文を参照されたい¹⁾。

(1) (CがAの時計を水浸しにしてしまった。それを見たAは時計を修理しようとする。修理中に時計の持ち主Bが入ってくる。)

A 你的表进了点水，我帮①你修一修啊。

B 你干什么呢，给我。

A 还没修好呢。

B 用你修，谁让你乱动别人东西。

(Aの手から時計が落ち、時計が壊れる。AとBが顔を見合わせる。傍観者Cが心配そうに様子を伺う。)

A 刚才进了点水，我这不是想帮②你修嘛。

B 你怎么干什么都是毛手毛脚的。

C 唉！这不怪她，都是我不好。

B 不要替她讲（说）²⁾话。喂，我拜托、以后不要动我的东西，行不行？

A 要不是你来抢，我就给③你修好了。不就是一块表嘛，至于那么大脾气，小气鬼。《都是天使惹的祸》

①②の“帮”、③の“给”を含む文はいずれも「私があなたのために（時計を）修理する」という意味を表す。何故、同じような意味を表す文であるにも

かわらず、“帮”と“给”といった異なった意味の語を選択するのか。

大川(1995)によると、“帮”は“给”と置き換え可能であると述べられている。大川の例文である(2)(3)を参照されたい。

(2) a. 我帮你拿行李吧。

b. 我给你拿行李吧。

(3) a. 快脱下来吧，我帮你缝两针。

b. 快脱下来吧，我给你缝两针。

(2)(3)のように“给”と置き換えられる“帮”について、大川は「語彙的意味が弱まり介詞化しつつある“帮”である」と、指摘する。では、この「語彙的意味が弱まり介詞化」しつつある“帮”とはどういう現象を指すものか。

認知言語学的観点から考えると、動詞の実質的意味が漂白化(semantic bleaching)して介詞に近づく現象だともいえる。意味の漂白化とは認知言語学の用語で、内容語(content word)³⁾としての意味が希薄となり、喪失されるようになることをいう。ただ“帮”が“给”に置き換え可能だといっても、「形式が違えば意味が違う」という認知言語学的観点から考えた場合、それぞれの文の表す意味に違いがあるはずだ。

そこで、本稿では“帮”を用いた文と“给”を用いた文がどういう条件下において共通点を持つか、また、差異はどのような点にあるか、について明らかにする。

2. “帮”を用いた文と“给”を用いた文の共通点

先行研究を参考にしながら“帮”が“给”に置き換えられる場合の“帮”を用いた文の構文としての意味、“给”を用いた文の構文としての意味を求め、最後にそれらの文が重なる共通点を明らかにする。

2.1 “帮”を用いた文の意味

“帮”の意味は中川(1991)によると「ちょっと手を貸す」から「当事者がすべきことを当事者になり代ってする」まで幅があるという。以下(4)(5)(6)

の中川の例文を参照されたい。

- (4) 许多家长晚上帮孩子默字，背课文。→ちょっと手を貸す
- (5) 请你帮我抬一下箱子。→半分だけ手伝う
- (6) 我的被子晒在楼下，下午要是回来晚了，请帮我收一下好吗？
→かわりにする

“帮”の意味を中川は「当事者がなすべきことの一部を肩代わりし、その肩代わりした部分については全面的に責任を持ってする」というニュアンスの強い語で、「前後の状況、とりわけ後続の述語動詞によってはちょっと手を貸すといった軽い手伝い方を意味する場合もある」と述べている。この記述を参考として、本稿では、行為を実際にする人を「行為者」、本来その行為をすべき人を「相手」と呼び、“帮”とは「行為者が、相手のすべき行為に手を貸し、その行為を全面的もしくは部分的にする」意味だと規定する。中川では指摘されていないが、この相手の行為を「部分的にする」のか「全面的にする」のかという意味の違いで、アスペクト助詞の使い方が異なる。それは、相手の行為を「部分的にする」意味の場合、アスペクト助詞は“帮”の後ろに伴い、相手の行為を「全面的にする」意味の場合、アスペクト助詞は“帮”の後ろに伴わず、共起する動詞に結びつく傾向があるという点である。

王朔の小説11作品（約62万字）中、“帮”の後ろにアスペクト助詞を伴う例は以下の2例だけである。

- (7) 吴胖子迎着太阳眯着眼叼着烟和新娘不停地插科打诨，李江云帮新郎检查要还的东西有没有遗漏。〈玩的就是心跳〉
- (8) 董延平等人和他们激烈地争执着，所有人都义愤填膺地帮董延平说话。〈永失我爱〉

(7) では“李江云”は“新郎”を手伝って、彼がすべき“检查”という行為をしている。(8) では“所有人”は“董延平”を手伝って、彼がするはずの“说话”という行為を一緒にしている。いずれも相手がしている行為を「全面的にする」のではなく「部分的にする」例である。

一方、「相手がすべき行為を全面的にする」意味の場合、“帮”の後ろにアス

ペクト助詞が付くのではなく、共起する動詞の後ろに付くようだ。

(9) 我让他再看会儿电视，自己去找值班大夫办出院手续。办好手续我帮石
岬收拾了简单的东西，换了衣服，走出医院。〈浮出海面〉

(10) 我们挤上一辆旅行车，胡亦动作敏捷，帮我占了个位子。
〈一半是火焰一半是海水〉

(11) “我真的不想玩。”于观说，“你们要人不齐，我可以凑一手，人多就算
了。”于观把那个笑开的女孩拉到自己身旁坐下，“你玩 我帮她看牌。”
〈顽主〉

(9) は「私が石岬のかわりに簡単なものの整理をする」、(10) は「胡亦が私
のかわりに席を取ってくれた」、(11) は「麻雀のやり方を知らない少女のかわ
りに牌の動かし方を見てあげる」という意味である。いずれの例でも“帮”は
「相手がすべき行為を行為者が全面的にする」意味になる。

この (9) (10) の“帮”の後ろにアスペクト助詞を用いると文法的に不適格
な文になる。

(9)' *办好手续我帮了石岬收拾简单的东西，换了衣服，走出医院。

(10)' *我们挤上一辆旅行车，胡亦动作敏捷，帮了我占个位子。

“帮”の後ろにアスペクト助詞を用いた (11)' は (11) と意味が異なる。

(11)' #我帮着她看牌。

(11)' の文は (11) の文脈では用いることができない。その理由は (11)' の文
は意味が異なってしまうためだ。その意味とは、私は麻雀ができる彼女が「麻
雀牌を見る」という行為を中断している間、一時的にその行為をするという意
味を表す文である。即ち、彼女がすべき「麻雀牌を見る」という行為を、「彼
女が中断している間」だけする、つまり部分的にする意味となる。

この「相手がすべき行為を行為者が全面的にする」意味の“帮”の後ろにア
スペクト助詞を用いることができない、という点で朱 (1982) が指摘する介詞
の基準「作为介词在句子里出现的时候就不能带“了、着、过”」に合致してい
る。故に、この意味の“帮”は動詞から介詞に近付いているといえる。

以上の「相手がすべき行為に手を貸してその行為を全面的にする」意味の

“帮”こそが、文法化して、“给”と置き換え可能だと本論者は考える。先の大川(1995)で置き換え可能だと言われた“帮”はいずれもこの「全面的にする」意味である。即ち、この意味の“帮”を用いた文は「行為者が相手のすべき行為に手を貸し、その相手の行為を全面的にする」意味を表す。

2.2 “帮”に置き換え可能な“给”を用いた文の意味

“给”の意味は辞書には多数あるが、なかでも“帮”で置き換え可能な“给”は、《現代汉语八百词》の“引进动作的受益者”に相等すると考えられる。しかし、この「動作の受益者を導く」という機能を示すのみでは、“帮”が置き換え可能な“给”の文が表す意味が何であるか不明確である。そこで、認知的観点から述べた先行研究を参考としながら受益者を導く“给”についてまとめてみる。

Newman(1993)では“给”の文法化に関して認知的観点から論じ、イメージスキーマを用いて受益者を導く“给”への道筋を詳しく述べている。それによると、“给”の基本義はAとBの二人の人物を仮定した場合、AがBへものを渡すことにある。(mainly RECIPIENTの“给”)人に何か渡す場合、advantageのもの・行為の場合とdisadvantageのもの・行為の場合がある。(RECIPIENT or BENEFACTIVEの“给”)advantageの行為をCONTROL DOMAINにて、AがBに与える場合、受益者を導く“给”になるという。(mainly BENEFACTIVEの“给”)つまり“给”は以下の道筋で文法化していくという。

mainly RECIPIENT → RECIPIENT or BENEFACTIVE → mainly BENEFACTIVE

木村(2004)においても“给”の文法化について論じられている。文法化の過程については、授与動詞“给”が、授与目標マーカ―へ、更に受益者マーカ―へと文法化する、と述べている。そして、受益者マーカ―の“给”が共起し得る動詞について、一般に〈奉仕〉〈服務〉〈労役〉の意味を読み込むことの容易な動詞に限られる、と指摘する。授与動詞から文法化した授与目標マーカ―、受益者マーカ―が動詞か介詞かという問題はしばしば議論の対象となる。“给”が“服務”の意味の場合、朱(1979)では「介詞」であると述べ、(12)(13)の例を挙げている。

(12) 大夫给病人打针。

(13) 你给孩子们讲个故事。

朱(1979)では“给”が“给予”の意味を読み込める場合は動詞だと規定している。そのため、(14)(15)のように“给”に“给予”と“服务”の意味がある場合、動詞か介詞かが不明確であるという。

(14) 我给客人沏杯茶。

(15) 我给你打件毛衣。

以上の先行研究をまとめると、“帮”が置き換え可能な“给”とは、受益者マーカーに文法化した“给”で、共起し得る動詞は〈奉仕〉〈服务〉〈劳役〉の意味を読み込める動詞だと考えられる。つまり受益者を導く“给”を用いた文は「行為者が相手に対して役立つ行為をする」という意味を表す文である。

2.3 “帮”と“给”の共通点についてのまとめ

前述したように、“帮”が受益者を導く“给”と置き換え可能である場合、“帮”を用いた文は「相手がすべき行為に手を貸し、その行為を行為者が全面的にする」意味を表し、“给”を用いた文は「行為者が相手に対して役立つ行為をする」意味を表す。

これら“帮”を用いた文と“给”を用いた文の共通点は、「相手がすべき行為」を行為者が「相手にとって役立つ」と認識し、「全面的にする」意味の場合、共通点があると考えられる。この場合、以下の(16)(17)に見られるように“帮”を“给”に置き換えられる。

(16) a. 提包我来帮您放上面。〈空中小姐〉

b. 提包我来给您放上面。

(17) a. 回头我帮你收拾——先吃饭。〈我是你爸爸〉

b. 回头我给你收拾——先吃饭。

(16) aにおいて、相手である“您”がすべき行為の「カバンを上置く」を、行為者“我”が“您”に手を貸して「カバンを上置く」行為を全面的にする、という意味を表す。この文は、行為者である“我”が「カバンを上置く」という相手にとって役立つ行為をする意味を表す、とも言える。よって、(16) a

の“帮”は(16)bの“给”に置き換え可能である。(17)aは、相手である“你”がすべき行為「片付ける」を、行為者“我”が手助けして、「片付ける」という行為を全面的にする、という意味を表す。この文は、行為者“我”が相手にとって役立つ「片付ける」という行為をする意味を表す、とも言える。よって、(17)aの“帮”は(17)bの“给”に置き換え可能である。

3. “帮”を用いた文と“给”を用いた文の差異

“帮”を用いた文と“给”を用いた文に共通点があると言っても、“帮”と“给”はもともと違う意味であるため、それらを用いた文の表す意味に差異があるはずだ。そこで“帮”と“给”の使用可否について考察する。

3.1 検証方法

方法として、VCD8作品から“帮”の用例と“给”の用例を集め、置き換え可能か否かを検証する。全用例を検証できないので、行為者が(i)「相手が行為をしている」状況で「手を貸す」、(ii)「相手が手助けを求める」状況で「手を貸す」、(iii)「相手に手助けを求められない」状況で「相手のために役立つ行為をする」という3点について、“帮”を用いた文と“给”を用いた文の用例を集めて検証する。この3点について検証する理由は、“帮”を用いた文が全面的・部分的に相手の行為に手を貸すことを示すが、“给”を用いた文は部分的には手を貸すことを示せないと考えられるためだ。

3.2 検証

3.2.1 (i) の検証

相手の荷物を行為者が「手伝って持ってあげる」という場合、VCDの用例は“帮”を用いた文しか見当たらなかった。

(18) A 晚上见。

B 来来来。我帮你拿。

A 我自己来可以了。《似水年华》

(19) A 哎，对不起。我帮你拿吧。

B 谢谢。《似水年华》

(20) A 哎哟，你这人会不会开车啊。

B 小姐，怎么样？你要不要紧？要不要陪你去医院。走走走。我帮你拿包。《真情告别》

(18) (19) (20) の例文は、相手 B が持っているカバンを行為者 A が相手の手助けをして「持ってあげる」場面である。これらの文の“帮”を“给”に置き換えると文の意味が変わってしまう。

(18)' #来来来。我给你拿。

(19)' #哎，对不起。我给你拿吧。

(20)' #走走走。我给你拿包。

(18)' (19)' (20)' のように“给”に置き換えた文の場合、“帮”を用いた (18) (19) (20) の文と同様、相手 B が持っているカバンを行為者 A が手を貸して「持ってあげる」という意味を表す。但し、この場合あるニュアンスが加わる。それは行為者 A が相手 B に対して「一人で持てないだろうから、持ってあげるよ」というニュアンスである。たくさん荷物を抱えて四苦八苦しなから持っている家族や仲の良い友達同士では用いられるが、初対面の人に用いるのは「あなたはできないだろうからしてやるよ」というニュアンスに聞こえるため失礼になるという。

つまり、“帮”を用いた文は、行為者が相手のしている行為を「部分的にする」もしくは「全面的にする」という2つの意味を表す文であるが、“给”を用いた文には、相手がしている行為を「部分的にする」意味がなく、さらに「相手が一人で達成できない行為をする」というニュアンスが加わる。

3.2.2 (ii) の検証

相手が手助けを求める状況において、行為者がその相手がすべき行為を手助けする場合、“帮”を用いると考えられる。

(21) (正看護婦になるための試験勉強している見習い看護婦 B が、通りがかった医者 A にわからない部分を教えてくれるように頼む。)

B 有些问题在这个地方，你帮我讲一下。

A 好，我帮你看看。《都是天使惹的祸》

(22) (BがAの夫にヘッドハンティングを依頼しているが、なかなか良い返事を貰えない。そこで友人であるAにも「勧めてくれないか」と電話で依頼する。)

A 喂，刘薇呀。他睡了。我真不知道他是怎么想的。行，我再帮你劝劝他。你可别抱太大希望啊。是不是影响你收入了。好，我请你吃饭。
《不要和陌生人说话》

手助けを求めた相手に対し、行為者が“给”を用いて「手助けする」意味を表す文を述べた場合、相手がすべき行為をかわりにするわけではない。「相手が一人では解決できない問題を解決する」というニュアンスが含まれる。

(21)' B 有些问题在这个地方，你帮我讲一下。

A 好，我给你看看。《都是天使惹的祸》

(22)' (BがAの夫にヘッドハンティングを依頼しているが、なかなか良い返事を貰えない。そこで友人であるAにも「勧めてくれないか」と電話で依頼する。)

A 行，我再给你劝劝他。

(21)'は「(君がわからないだろうから) みてやるよ」、(22)'「わかった、私が(あなたが勧めても彼からいい返事がもらえないようだから) 彼に勧めてあげるわ」という恩着せがましいニュアンスが加わり、失礼な意味の文になる。

VCDから「相手が手助けを求める状況」で「行為者がその相手がすべき行為を手助けする」意味を表す“给”を用いた文を収集してみると、高圧的で恩着せがましい用例しか見当たらなかった。

(23) (BがAにある女性と一目会いたいと依頼する場面)

B 林老板，话不能这么说。反正我已经想好了。在我交货之前，我必须见她一面。

A 什么？好吧，我给你说说看。你他妈别跟我老成天琢磨这事儿，好好干。《黑冰》

(23) についていえば、「女性と会う」ように取り計らう行為は本来相手がす

べき行為である。そういう相手に「わかった、彼女に言ってみるよ」と取り持つ約束をする意味を表す文に“给”を用いたら「お前が一人で取り計らえないから何とかしてやる」というニュアンスを含む。しかし、「相手が手助けを求める」状況で「手助けする」意味を表す文に“给”を用いた場合、いつでも高圧的で恩着せがましい意味があるわけではない。例えば、行為者がある仕事に従事しており、その仕事に関わる内容を頼んだ相手を手助けする場合、一般に“给”が用いられる。

- (24) (役所に書類を持ってBが訪れるが約束した当事者が不在。そこで役所で働くAに「資料を見てもらいたい」と頼む。Aはそれに応じて「見てあげる」という)

B 今天，我就是跟他约好的。要不，您帮我看看这些材料，是我们重新组织的。

A 我倒是可以给你看。《让爱作主》

- (25) (Bが飼い犬の安楽死を医者Cに頼む。しかし、Cが嫌がる。動物病院の院長Aがやって来て、Bに犬を安楽死させる約束をする)

A (Bをなだめながら言う) 你别理他，有什么话您好好说，慢慢说。没事没事。这问题好解决。我知道我知道。你放心你放心。我肯定给您做。《都是天使惹的祸》

(24)のように、役所で働いている人が陳情に来た相手に対してや(25)のように医者がペットの病気を治して欲しいと頼む相手に対しては“给”を用いる。何故なら、ここで言う相手は、いずれも自分では解決できない意味を抱えており、それは他人がその行為をする事で解決する性質のものであるからだ。

3.2.3 (iii) の検証

相手から手助けを求められない状況で、相手のために役立つ行為をする場合、VCDからは(26)(27)(28)のような“给”を用いた例文しか見当たらなかった。

- (26) (Bの空想。雑誌社で一番偉い“总编”になり、皆に敬われている)
(編集者一同 总编，早上好。)

A (Bの靴が汚れているのを発見) 哎呀,总编。你鞋上有个白点(儿)。
我来给你擦掉。

(BがAの靴を拭く)《真情告别》

(27) (BのためにAがたくさん食料を買って持って来て、言った台詞)

A 给你熬点儿鱼汤喝。《让爱作主》

(28) (Bの女性の熱を測った女性が“你好烫噢。赶紧，赶紧，我们上去。
换个衣服洗个热水澡，感冒了。”という台詞をAが聞いて言った)

A 我有感冒药，我给你拿感冒药。

B (無言)。

C 吃完药以后好好在我床上睡一觉。《粉红女郎》

(26) は、相手に「靴が汚れているから拭いて」と求められてはいないが、相手の靴が汚れているのを発見し、主体的に行動する場面である。(27) は、相手に「魚のスープを煮て飲ませてあげる」という場面である。(28) は、行為者が「相手に熱があつて風邪を引いた」と言う台詞を聞いて役に立つようにと考え「風邪薬を持ってくるよ」言う場面である。この際、行為を受ける相手から手助けを求められていない。

“帮”は相手から手助けを求められない状況でも、用いられる場合がある。それは、行為者の目の前で、相手の状態が困った、もしくは手助けが必要な状態へ変化した際、「あなたは手助けが必要になり、その行為を全面的に私がする」という意味で“帮”が用いられる。

(29) (目の前でものを落としたBに対してAが言った台詞)

B 瞧你嘴甜的。(手に持っていたものを落とす)

A (啊), 我帮你捡。《真情告别》

(30) (Aの目の前でBが気分を悪そうにした)

A (啊), 我帮你到(倒)⁴⁾点开水。《都是天使惹的祸》

(31) (走るBを追いかけるAとC。)

C 你别跑，等一下，慢(一)点(儿)。

(公園のベンチにB、座り込み、AとCがようやくBに追いつく。B

のバッグの携帯が鳴り出した。Bは携帯のベルに気づかず。）

A 你手机在响，我来帮你接。（Bのカバンから携帯を取り出す）喂。

《粉红女郎》

(29) はものを落とした相手に対して「拾ってあげる」という場面で、(30) は気分が悪そうに頭を抱えた相手に対して「お湯をくんであげるよ」という場面で、(31) は携帯が鳴っている事に気づいていない相手に対して「携帯に出てあげるよ」という場面である。相手の状態がいずれも困った、或いは手助けが必要な状態へと変化し、その状態を好ましい状態にするため、行為者が行う場面である。

3.3 検証結果

3.2 の検証結果は以下のように表にまとめられる。

表：“帮”と“给”の使用状況

	帮	给
相手が行為をしている状況で手を貸す		
①相手の行為を全面的に手助けする	○	△
②相手の行為を部分的に手助けする	○	×
相手が手助けを求める状況で手助けする		
①相手がすべき行為を全面的にする	○	△
②相手自身がすべきでない行為を解決する	×	○
相手に手助けを求められない状況で		
相手のために役立つ行為をする	△	○

(○可能、△条件付で可能、×不可能。)

“帮”を用いた文とは、すべき、もしくはしている行為を抱えている相手があり、その相手を手助けするためにその行為を全面的・部分的に行為者がする意味を表す。そのため、相手にすべき行為がない場合、助ける必要がないので用いられない。一方、“给”を用いた文とは行為者が相手にとって役立つと判断する行為をする意味を表す。但し、その役立つと判断する行為は「相手が一人ではできない」、「もしくは解決できない」という意味的制約がある。それは、

そもそも受益者の“给”とは、AとBという人物を仮定した場合「(Bにないものを) AがBに与える」という意味の授与動詞“给”から文法化したため、もとの「B(相手)のないもの」という意味的制約のため、「相手ができない行為」である必要が生じるからである。

4. まとめと今後の課題

本稿では、“帮”と“给”を用いた文の共通点と差異を明らかにした。簡単にまとめると“帮”を用いた文と“给”を用いた文は、「相手がすべき行為」を行為者が「相手にとって役立つ」と認識し、部分的ではなく「全面的に行う」意味の場合、共通点があり、各語の置き換えが可能である。そして、それらの文は、相手の行為に対して“帮”を用いた文が全面的・部分的に手を貸すことを示すが、“给”を用いた文はあくまでも相手の役に立つ行為を示すのみという点に差異があり、各語の使用可否が決定される。

今後は、刘(2003)で指摘されているように“帮”に対する認識には方言差があることから、“帮”と“给”の共通点と差異について、方言差から観察することを課題としたい。

注

- 1) 本文中で使われている記号の意味は次の通り。

*：その文が文法的に正しくない(非文法的である)、またはその文述が意味的にまとまりをなさないことを示す。

??：その文が文法的に不自然であることを示す。

?：その文が文法的にやや不自然であることを示す。

井：その文脈で求められている解釈では非文法的だが、それ以外の解釈では文法的であることを示す。

- 2) VCDからの用例文において()で括られている箇所があるが、その箇所は字幕では文字化されていなかったが、実際話している音が聞こえ、かつ文脈上そ

の字をあてはめる事ができる場合に用いた。また、文字の上部に点を附してある場合は、字幕の誤りだと考え、訂正した。

- 3) 河上 (1996) によると、内容語 (content word) とはそれ自体で意味をもち、単独で存在しうる語で、モノや行為や属性などを記述する語であり、典型的には名詞、動詞、形容詞などがこれに当たる。
- 4) 注2) 参照。

【主要参考文献】

- 相原茂・石田知子・戸沼市子 1996. 『Why にこたえるはじめての中国語文法書』 同学社
- 河上誓作 1996. 『認知言語学の基礎』 研究社出版
- 刘月华他 2001. 《实用现代汉语语法 (增订本)》 商务印书馆
- 朱德熙 1979. 〈与动词“给”相关的句法问题〉《方言》第2期
(1980. 《现代汉语语法研究》所收, 北京: 商务印书馆)
- 朱德熙 1982. 《语法讲义》 商务印书馆
- 中川正之 1991. 「“帮”はどこまで手伝うのですか?」『中国語学習 Q & A101』
大修館書店
- Newman, John 1993. The Semantics of Giving in Mandarin, in Richard A. Geiger (eds.),
Conceptualizations and Mental Processing in language, Berlin; New York: Mouton de
Gruyter
- 大川完三郎 1995. 「“帮”“帮助”“帮忙”」『類義語のニュアンス』 東方書店
- 刘丹青 2003. 〈语法化中的共性与个性, 单向性与双向性 - 以北部吴语的同义多功能虚
词“搭”和“帮”为例〉《语法化与语法研究 (一)》 商务印书馆
- 木村英樹 2004. 「授与動詞から受動への文法——北京語授与動詞の前置詞化をめぐっ
て——」『月刊言語』 vol.33-No.4

【引用コーパス】

A. 小説

《王朔文集 顽主》〈顽主〉〈你不是一个俗人〉〈许爷〉〈动物凶猛〉

“帮”と“给”の共通点と差異

《王朔文集 过把瘾就死》〈过把瘾就死〉〈一半是火焰一半是海水〉〈浮出海面〉〈空中小姐〉

《王朔文集 我是你爸爸》〈我是你爸爸〉

《王朔文集玩的就是心跳》〈玩的就是心跳〉

以上はいずれも云南人民出版社

《王朔文集 纯情卷》华艺出版社〈永失我爱〉

B.VCD

《粉红女郎》中国国际电视总公司

《黑冰》上海蓝星广告传播公司上海文化发展有限公司上海东方电视台

《让爱作主》齐鲁国际广告有限公司

《真情告别》苏州慈文影视制作有限公司杭州天幕文化传播有限责任公司湖北电视台

《不要和陌生人说话》北京电视艺术中心音像出版社

《似水年华》中国电影合作公司 北京曼孚文化传播有限公司

《权利》北京电视台山西电视台江苏电视台齐鲁电视台湖北电视台

黑龙江电视台 辽宁电影制片厂山东鸿艺影视公司

《都是天使惹的祸》江苏福纳文化传播有限公司 上海和展广告有限公司 杭州电视台

[付記] 本稿は、2004年1月にお茶の水女子大学に提出した修士論文の一部を加筆修正したものである。ご指導ご助言を頂いた相原茂先生、244会の皆様に心より感謝申し上げます。

(ながえ たかこ・お茶の水女子大学大学院博士後期課程)